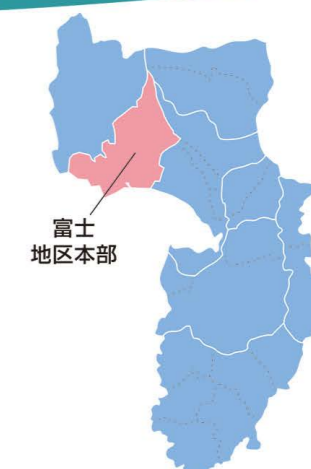




富士 地区本部 [エリア]

富士地区本部は、富士山南麓の富士市をエリアとし、南は駿河湾(海拔0m)から北は富士山9合目(3,680m付近)までと標高差に富む地域です。



富士地区本部

所在地：富士市青島200-1
電話：0545-51-2121(代)
FAX：0545-53-7837

主な施設

支店		営農関連施設		その他施設
富士中央支店	伝法支店	富士営農経済センター	田子浦ライスセンター	不動産相談センター富士店
元吉原支店	大淵支店	須津営農経済センター	東町冷蔵庫	ローンセンター富士
須津支店	鷹岡支店	伝法営農経済センター	栄もち工房	富士葬祭センター
原田支店	天間支店	大淵営農経済センター	ふれあい耕房ふじかわ	JAやすらぎ富士中央会館
今泉支店	丘支店	岩松営農経済センター	茶業研修センター	JAやすらぎ駅南会館
富士北支店	吉永支店	富士柑橘共選場	富士プロパンガスセンター	JAやすらぎ富士川会館
島田支店	富士支店	須津ライスセンター		



原田吉永の湧き水

田子の浦のしらす

JAのこも食堂



市指定史跡「雁堤」がねつづみ「かりがね祭り」の投げ松明

温暖な気候と標高差に 富む多品目産地、富士

富士山の伏流水、河川や海沿いの砂質土壌、火山灰土と腐葉の多い黒ボク土壌、平均気温が17℃と、富士市は四季を通じて過ごしやすく、さまざまな農産物が生産できる農業条件に恵まれています。
中山間地では、茶やミカン、キウイフルーツ、平野部では米やイチゴなどの他、根付きシキミは品質・生産量ともに全国有数の産地です。
昨今、洋菜部会や産直市部会が富士市の特産品づくりに注力し、白さが特徴のカリフラワーや果物のような甘さの紅白カブ「桃富士・雪富士」、「富士山麓わくわくコーン」などの産地化を図り、富士市の新たなブランド農産物の確立と農業を主軸とした地域振興に取り組んでいます。

情報 プラス

富士地区本部エリアには15店舗の産直市があります。地元農家が「地場産品のおいしさを届けたい!」「採れたての味を知ってほしい」との思いを胸に、運営・出荷しています。
各店舗では多彩なイベントを開催し、地場産品が手頃な価格で購入できます。
その他、市内のマックスバリュや道の駅に生産者直売所を設け、地産地消につながる店舗を展開しています。



産直市

- まごころ市
- 大淵ふる里村
- ポケットファームかじま
- かりがね産直市
- すど良心市
- 吉永野菜市の会
- ちよつとよって鷹の市
- 田子っこ産直市
- 伝法産直いきいき市
- 野菜工房うきうき畑
- ふれあい元市
- 北部産直きずな
- 産直市いづみの里
- ふじかわ産直市
- 岩本山産直市

のびのび 富士育ち



販売時期
6月中旬～
9月中旬

富士地区ブルーベリー部会員が丹精込めて栽培し、厳選しながら1粒ずつ丁寧に手摘みした高糖度のブルーベリーです。5～6粒まとめて食べると口いっぱいに果汁が広がります。

販売時期
6月中旬～
9月中旬



富士山麓 わくわく コーン

蜜のような甘さとコクがあり、大粒で実のやわらかいスイートコーンです。富士ブランド認定品で、販売時期には店頭で並ぶと同時に売り切れるほどの人気の逸品です。

富士 自慢の 特産品

販売時期
8月上旬～
9月上旬

富士梨



富士梨は富士市で栽培される「幸水」・「豊水」を中心に、一番おいしい食べ頃に収穫され、高糖度で果汁が多く、消費者から絶大な人気を得ています。市内の農家直売所などで販売されますが、生産量が少なく貴重な逸品です。



生産者(左)と消費者が交流を深める

富士宮地区本部エリアにあるファーマーズマーケット「う宮」は、地域初の大型直売所として平成20年にオープンしました。標高差のある広いエリア内から集まる多様な農畜産物に加え、駿河湾の鮮魚、手づくり総菜、地酒などの土産品を販売し、1店舗でさまざまなものがそろった利便性を備えた「ワンストップ型」の直売所です。地元住民やキャンパー、観光客など年間約50万人が来店し、連日にぎわいをみせています。富士山が見えるスポットとしても人気です。

静岡県内 No.1!
生産者と消費者をつなぐ
ファーマーズマーケット「う宮」

JA直売所としては県内最大級の売り場面積を誇り、令和2年度は12億4400万円(税抜)の売り上げを達成しました。生産者と消費者をつなぐ「ふれあいの場」として、食と農の魅力にあふれています。

プラス情報

■う宮～な
所在地:富士宮市外神123
電話:0544-59-2022
営業時間:8:30～16:00
定休日:火曜日(祝日除く)、年末年始

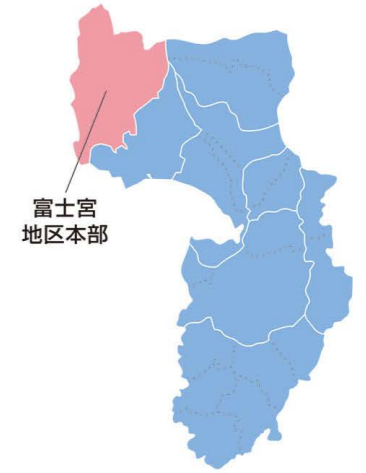


空と富士山の青に映える もえぎ色の茶畑



富士宮地区本部 [エリア]

富士山西南に広がる富士宮市をエリアとし、海拔35mから富士山頂の3,776mまで日本一の標高差があります。この標高差が生む気候の違いと富士山の湧き水、火山灰土壌を利用して多品目の農産物を生産できることが、富士宮の農業の特徴です。



富士宮地区本部
所在地:富士宮市外神東町117
電話:0544-58-0001(代)
FAX:0544-58-5340



う宮茶
富士宮産茶葉100%のオリジナル緑茶飲料。令和3年9月に一新し、中身が見えるPETボトルと、鮮やかな緑色・豊かな風味に仕上げました。富士宮市ふるさと納税返礼品の他、売り上げの一部を富士山の環境保全に役立てています。



富士山麓 落花生

富士宮 自慢の特産品

販売時期
〈普通サイズ〉
7月下旬頃～9月末
〈ジャンボサイズ〉
8月中旬～10月末頃
(冷凍落花生は通年)

明治時代から生産され、塩ゆでの食べ方が定着しています。令和2年度のJA販売量は53トンで、県内有数の産地です。しずおか食セレクションの認定を受け、冷凍落花生も販売しています。

販売時期
10月～2月末
食べ頃
11月すぎ

富士山麓 さつまいも

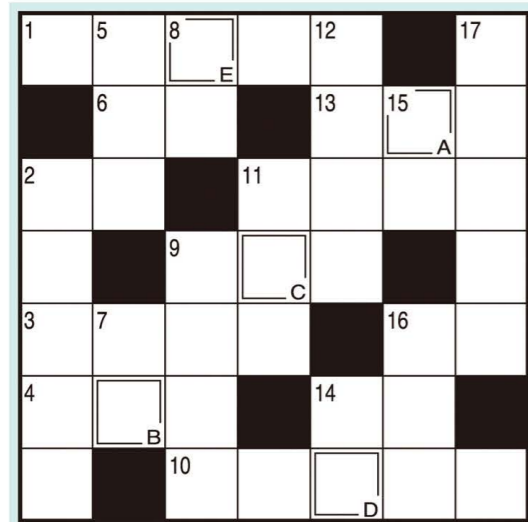
富士山の火山灰土壌が適し、明治初めから盛んに生産されています。ファーマーズマーケット「う宮」で石焼き芋や各生産者の干し芋を販売し、おいしさをPRしています。



伊豆太陽
三島函南
伊豆の国
あいら伊豆
なんすん
御殿場
富士
富士宮

頭の体操

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



タテのカギ

- ②銭湯の服を脱ぎ着する所
- ⑤函館、神戸、長崎は美しいことで有名
- ⑦天ぷらを□□に付けて食べた
- ⑧牛や馬がはみませ
- ⑨電球をねじ込みませ
- ⑪ぴったり息が合うことを□□□の呼吸といいます
- ⑫履き物を入れておく家具
- ⑭たるにはめませ
- ⑮レバーと炒めたりギョーザに入れたりする葉野菜
- ⑯押したり引いたりして開けませ
- ⑰ぺちゃくちゃと楽しむもの

ヨコのカギ

- ①漢字では石楠花、石南花などと書く花
- ②自動車を数えるときに使う言葉
- ③百聞は□□□□に如(し)かず
- ④火遁(かんと)の□□□を使う忍者
- ⑥お坊さんが着ませ
- ⑨商品などをしまっておく建物
- ⑩伏見□□□□や万願寺□□□□はブランド京野菜に指定されている□□□□です
- ⑪粗末な家のこと
- ⑬田んぼや池にすむ巻き貝
- ⑭和装の際の靴下?
- ⑯体には羽毛が生えています

クイズの正解者の中から
抽選で10名様に
沼津茶&富士宮の新茶
セット(茶葉)プレゼント!

※写真はイメージです

応募方法

ハガキ または 応募フォームに
①クイズの答え ②郵便番号 ③住所
④氏名(ふりがな) ⑤年齢 ⑥電話番号 ⑦職業
⑧JAふじ伊豆と本誌へのご意見・ご感想や
おたより(身近な出来事、写真、イラストなど)を
明記してください。
※ご応募いただいた皆さまの個人情報はプレゼントの発送以外
には使用しません。
※当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

応募先
ハガキ

〒410-0822
沼津市下香貫字上障子415-1
JAふじ伊豆 総合企画部 広報課

締切
4/30
当日消印有効

応募先
応募
フォーム

https://req.qubo.jp/ja-fujiizu/form/magazine

編集後記

JAふじ伊豆広報誌の創刊にあたり、令和3年度に8JAの広報担当者による「広報誌プロジェクト」が立ち上がりました。互いにアイデアを出し合いながら何か月にもわたり協議を重ね、ここに8JAの想いが詰まったふじ伊豆創刊号が完成しました。新JAの目指す姿や8地区の地域農業、特産品など、JAふじ伊豆の魅力が満載です。今後は本店広報課と地区広報担当者が食と農、地域の魅力、JAの魅力がぎゅっと詰まった広報誌をお届けしていきます。皆さま、ぜひご覧ください。

(広報誌プロジェクトメンバー 一同)

▼ 広報誌創刊号作成メンバー(左から): 岡村(伊豆太陽)、奥村(三島函南)、山下(伊豆の国)、高田(あい伊豆)、工藤(なんすん)、井上(御殿場)、望月(富士市)、大塩(富士宮)



おたより募集

皆さまの身近な出来事や写真(面白い形の野菜、季節の風景、ペットなど)、絵手紙やイラストなどをお待ちしています。ふるってご応募ください。

※「頭の体操」の答えと一緒に、ご投稿いただいても構いません。応募先は上記の「頭の体操」の応募方法をご参照ください。



インフォメーション

JAふじ伊豆 ホームページ・SNS開設&プレゼントキャンペーンのご案内

4月1日から、JAふじ伊豆のホームページと各種SNSを開設しました。JAの事業紹介や特産品、ファーマーズマーケットなどの情報をご案内しています。チェックしてみてください。

ホームページ

<https://www.ja-fujiizu.or.jp>

JAふじ伊豆



JAふじ伊豆誕生記念! プレゼントキャンペーン

JAふじ伊豆誕生を記念して、LINEとTwitterでプレゼントキャンペーンを行います。友だち登録、フォローをしてぜひご応募ください。

応募期間 4月1日(金)~4月30日(土)まで

プレゼント **JAふじ伊豆お楽しみセット3,000円相当**
LINE・Twitterそれぞれ5名様

応募方法 LINEとTwitterの両方から、ぜひご応募ください!



LINE
1 LINE公式アカウント「JAふじ伊豆」を友だち登録
2 専用の応募フォームから応募要項を入力



Twitter
1 JAふじ伊豆Twitter公式アカウント「@JA_fujiizu」をフォロー
2 対象の投稿をリツイートまたは「#JAふじ伊豆誕生記念」をつけてツイート



お問い合わせ 総合企画部 広報課 電話: 055-931-4977

※当選発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。いただいた個人情報は当選者の抽選および発送以外には使用しません。

新規事業 あぐりチャレンジ事業のご案内

農業所得の向上や生産組織の基盤強化に向けて、「あぐりチャレンジ事業」を新設します。

助成 上限200万円(事業費の90%以内)
(年間予算 3,000万円)

応募期間 4月1日(金)~5月31日(火)

対象者 ① JAふじ伊豆の組合員による生産組織・グループ(個人は対象外)
② 正組合員である法人(売上高3,000万円以上、畜産法人は1億円以上)

対象事業 ① 新たな作物、転換作物の導入に関する事業
② 新たな生産技術・改良技術の導入に関する事業
③ 新たな需要の創造を図る販売に関する事業
④ 生産部会による試験的な取り組みに関する事業 など

支援要件 JAふじ伊豆の職員と共に計画を立て事業に取り組むこと、おおむね3年以内に一定の成果が見込める事業計画であること など

事業期間 令和4年4月1日~令和5年3月31日の1年間

審査 JA内に設置する審査会により審査を行い、事業の決定を行います

お問い合わせ 各営農経済センターまで

ゴールデンウィーク各種営業

ゴールデンウィーク中の金融・購買窓口、ATM、ファーマーズマーケット・農産物直売所などの各種営業につきましては、決定次第、順次ホームページでお知らせします。お手数をおかけしますが、JAふじ伊豆ホームページをご覧ください。

<https://www.ja-fujiizu.or.jp>

JAふじ伊豆

広報誌発行のご案内

JAふじ伊豆の広報誌は、偶数月(2・4・6・8・10・12月号)は冊子版、奇数月(1・3・5・7・9・11月号)はタブロイド版(新聞折込)で発行します。発行日は1日です。

地区本部単位(旧8JA単位)の地区だよりも随時発行予定です。

地域農業や特産品、JA・地域の話題を満載にお届けします。ホームページでもご覧いただけます。ぜひご覧ください。





JAふじ伊豆の四季 写真募集

2023年版カレンダーフォトコンテスト

👑 **最優秀賞** | 1点 | **3万円 +** JAふじ伊豆特産品5千円相当

👑 **優秀賞** | 2点 | **2万円 +** JAふじ伊豆特産品5千円相当

👑 **入選** | 9点 | **1万円**

テーマ

「JAふじ伊豆の四季」

農村風景や四季を感じる富士山、名所、旧跡、JAふじ伊豆の行事、祭事、農畜産物などを被写体にした季節感のある写真。

※JAふじ伊豆管内(静岡県東部地域)を撮影した作品に限ります。

作例

- ・農畜産物などと富士山
- ・農作業風景
- ・朝方や夕暮れ時など色彩感のある写真

サイズ

デジタルカメラはJPEGで1,000万画素以上で撮影したもの、カラーライドは35mm以上で撮影したものを、A4または六つ切りサイズにプリントしてご提出ください。

応募方法

JAふじ伊豆広報課またはお近くのJA各支店に郵送またはご持参ください。応募作品の裏面に応募票をセロハンテープで貼り付けてください。

※応募票はJAふじ伊豆ホームページまたはお近くのJA各支店に設置しています。

※専用の応募票以外でも、作品タイトル・作品コメント・撮影場所・撮影年月・氏名・住所・電話番号・種類(デジタルカメラ・カラーネガ・35mmポジ・フロッピー等)を明記して添付していただければ構いません。

募集目的

2023年版 JAふじ伊豆発行カレンダー(12か月12枚)に掲載。その他JA事業のPRに利用します。

締め切り

2022年8月31日(水) 当日消印有効
ご持参いただく場合は、営業時間内をお願いします。

審査・発表

当JAが厳正に審査し、入賞者ご本人に直接通知します。

注意点

●お1人さま5点まで応募できます。●過去3年以内に撮影した作品に限ります。●応募作品は未発表の作品に限ります。過去の応募作品での再応募はできません。●入賞作品の著作権はJAふじ伊豆に帰属します。●入賞作品は、データまたはネガの提出をお願いします。●応募作品は返却しません。●被写体に関する肖像権は応募者の責任において了解を得たものに限ります。●スマートフォンで撮影した作品は応募できません。●応募票に記載された個人情報、本コンテストの運営の他、当JA広報誌・ホームページ上で作品を紹介する際に、使用場合があります。

お問い合わせ・作品送付先

〒410-0822 静岡県沼津市下香貫字上障子415-1
JAふじ伊豆 総合企画部 広報課

☎055-931-4977 (平日8:30 ~ 17:00)

JAふじ伊豆ホームページ
<https://www.ja-fujiizu.or.jp>